

園芸市場情報

令和4年2月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

2月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

花きは、入荷量は前年並、相場も前年を上回るか！

<今月の写真>

2月8日は「べにはるかの日」です

(千葉会の市場と連携して販促活動を実施)

「べ・に(2)は(8)・るか」の語呂合わせから、JAかとりが2月8日を「べにはるかの日」として、販促活動に力を入れています。今年は、JA 全農ちばが、千葉会土物部会の市場と連携して、首都圏量販店で販促活動を実施しました。

量販店の担当者に話を聞いたところ、Mサイズ(200g 以上 330g 未満)の3本入り、家庭消費の売れ筋となっていて、この商品があると売やすいとのことでした。

「べにはるか」は、平成19年に誕生した新しい品種で、生産者が手塩にかけて育てた芋を30日以上貯蔵してから出荷しており、名前の由来である他の品種より「はるか」に甘いことや、しっとり～ネっとりとした食感から、消費者からは焼き芋として好まれ、年々作付面積が増え、現在は、全体の約4割を占めています。

お近くのスーパーなどの焼き芋コーナーで「べにはるか」を見かけたら、是非、一度お試しください。



スーパーよしや 中板橋本店では専用の売り場コーナーを設け、袋にシールを貼ったり、ポップを使ってPRしていました。

(右の写真は、Mサイズ3本入りです。スケールは16cm。)

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1頁
1月（中旬まで）の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
2月の見通し	
今月の青果物 特集「いちご類」	
II 花き（切花）情報	6頁
1月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）	
2月の見通し（ストック、カーネーション）	
12月の入荷量と単価の経過 <確定値>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7頁
12月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8頁
「恵方に向かって」	
V 首都圏掲示板	9頁

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 12月下旬～1月中旬までの経過

気象 12月下旬の前半は、日本海側を中心に曇り・雨・雪となったが、太平洋側では高気圧に覆われたため、晴れの日が多かった。後半からは強い寒気が流れ込んだため、北・東・西日本の日本海側で記録的な大雪となった。1月6日には関東で大雪となった。9日は寒さが緩んだが、それ以降は記録的な大雪が全国で相次いだ。

気温は、北海道東部等の一部を除いて、平年より低く推移した。降水量は、日本海側と北海道で平年より多く、太平洋側の特に西日本では少なかった。

日照時間は、東北地域の日本海側や沖縄等の一部を除き、全国的に長かった。

野菜類

入荷量 これまでの冷え込みの影響だけでなく、1月上旬は関東平野部でも積雪があり、「にんじん」などで収穫が遅れるなど、多くの品目で入荷量が減少した。「レタス類」は寒波や乾燥の影響で生育、玉肥大が鈍り、入荷量が少なかった前年並となった。「トマト」は気温低下で着色の遅れが見られはじめ、また熊本県からの入荷が回復しきらず、前年をかなり下回る入荷量となった。

野菜全体では、12月下旬から1月中旬の入荷量は111,951t（前年比97.4%）と前年並となった。

相場 「レタス類」は需要期に出回りが少なく、年明け以降も連休前までは堅調な販売となった。「トマト」は絶対量が少ないながらも、寒さから荷動きが悪く、下げ基調となった。

野菜全体では、12月下旬から1月中旬の価格は257円/kg（前年比102.8%）と前年並となった。

果実類

入荷量 「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷。「りんご類」は引き続き春先の凍霜害の影響で、「いちご類」は年末の寒波により前年を大幅に下回った。「みかん類」は年内天候よく順調な生育で大玉傾向だったが、裏年のため前年をかなり下回った。

果実全体では、12月下旬から1月中旬までの入荷量は37,472t（前年比91.0%）と前年をかなり下回った。

相場 「りんご類」、「いちご類」は数量少なく、前年を大幅に上回った。「メロン類」もコロナ禍を見越し作付けを減らして数量少なく、年末年始の需要高から前年を大幅に上回った。

果実全体では、12月下旬から1月中旬までの価格は503円/kg（前年比111.5%）と前年をかなり上回った。

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2022年12月下旬～1月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年4日・前年4日				開市日数 本年8日・前年7日				開市日数 本年19日・前年18日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	43,434	96.0	267	107.9	24,934	78.4	273	103.1	43,584	115.1	238	98.7	111,951	97.4	257	102.8
うち外国産	895	102.4	350	111.4	612	108.8	283	93.4	1,032	135.1	263	95.4	2,539	115.4	298	100.2
果実総量	18,168	87.1	480	108.3	6,082	75.8	611	118.4	13,222	107.4	486	114.7	37,472	91.0	503	111.5
うち外国産	1,168	86.0	208	115.3	635	79.7	223	122.6	1,093	105.6	228	120.6	2,896	90.8	219	119.2

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	4,182	108.5	77	86.6	2,720	78.9	88	85.8	3,731	107.0	67	83.6	10,633	98.6	76	84.4
にんじん	2,995	93.9	122	94.2	1,080	71.2	114	80.6	2,721	104.8	105	73.4	6,797	93.1	114	83.3
はくさい	5,708	96.7	33	89.8	3,272	73.6	39	104.6	5,404	106.4	41	109.2	14,384	93.2	37	100.5
キャベツ類	4,569	104.9	63	77.2	3,382	96.2	74	72.0	5,760	138.4	77	78.1	13,711	113.9	71	76.4
ほうれんそう	516	101.0	494	85.0	281	74.4	617	87.1	503	110.2	600	102.0	1,299	96.6	562	90.7
ねぎ	2,160	105.5	299	76.9	1,089	87.1	349	70.1	2,116	126.8	242	60.8	5,365	108.0	287	68.3
レタス類	2,316	92.7	257	142.5	1,586	77.8	284	123.8	2,341	129.2	254	117.4	6,243	98.3	263	127.3
きゅうり	1,409	91.1	397	101.6	1,258	85.2	331	90.8	1,709	114.3	345	87.7	4,376	96.8	358	93.4
なす	410	95.2	420	87.9	434	86.1	346	84.0	598	139.9	405	85.1	1,441	105.8	392	86.5
トマト	1,428	83.9	457	130.3	1,432	77.3	356	113.2	1,992	107.3	327	105.3	4,851	89.7	374	115.2
ピーマン	560	97.0	368	89.5	376	85.7	415	84.3	711	116.9	513	84.2	1,647	101.4	442	87.0
さといも	723	109.6	334	86.6	57	49.0	299	80.2	202	118.4	288	76.5	982	103.7	323	84.4
ばれいしょ類	2,446	75.4	218	151.4	935	56.5	233	140.7	2,605	112.2	242	121.7	5,986	82.9	231	138.5
たまねぎ	3,140	84.1	181	235.0	1,268	56.8	191	210.1	3,284	98.5	187	195.2	7,692	82.7	185	212.7
生しいたけ	309	96.8	1,173	99.6	214	84.5	1,074	96.6	272	111.2	957	93.5	795	97.3	1,073	96.5
かぼちゃ	679	99.9	234	109.6	365	106.0	177	94.3	669	113.8	186	90.2	1,713	106.3	203	99.0
さやえんどう	59	93.8	1,043	104.2	36	83.6	871	83.7	76	165.0	908	77.4	172	112.5	947	89.0
かんしょ	1,132	106.3	301	104.0	325	80.2	292	101.6	1,212	116.4	290	102.2	2,669	106.3	294	102.8
かぶ	449	98.6	122	104.4	234	81.1	164	97.8	437	111.7	131	92.2	1,120	98.7	134	96.9
ごぼう	418	110.9	338	78.5	100	107.0	281	63.4	211	135.0	328	71.8	729	116.3	327	74.6
こまつ菜	424	106.3	374	100.1	265	77.3	426	92.0	373	109.4	420	96.0	1,062	98.1	403	95.5
こねぎ	147	100.8	976	111.0	91	99.0	1,136	105.4	150	126.5	912	86.5	388	108.9	989	100.0
糸みつば	120	101.2	1,800	123.8	57	90.6	1,450	115.2	38	104.1	508	119.8	215	98.6	1,481	120.7
しゅんぎく	119	114.7	1,406	110.7	82	79.8	1,271	95.5	89	117.3	712	92.5	290	102.8	1,155	99.8
にら	202	98.2	1,051	110.4	130	82.9	1,148	98.6	247	118.1	922	82.9	579	101.3	1,018	95.2
セルリー	259	93.2	175	108.8	157	91.8	177	104.7	249	102.8	174	108.0	665	96.3	175	107.5
カリフラワー	195	157.5	218	77.2	81	90.8	225	82.3	141	171.3	231	78.9	417	141.2	224	79.2
ブロッコリー	1,031	102.4	343	91.3	689	77.7	366	88.3	1,121	147.3	414	88.7	2,841	107.0	376	90.8
サラダな	22	106.0	703	129.9	16	77.6	579	124.6	21	118.7	453	108.4	59	100.1	580	121.5
パセリ	24	87.3	2,195	177.6	10	93.6	1,958	155.1	12	97.1	1,349	133.0	47	91.1	1,917	161.7
チンゲンサイ	94	88.1	299	135.1	64	73.4	337	112.9	112	95.3	333	105.0	270	86.7	322	115.4
ミニトマト	614	91.5	662	136.2	567	87.2	560	120.1	755	121.3	530	100.1	1,936	99.6	580	117.7
いんげん	79	132.1	756	69.4	45	99.7	760	69.4	69	160.2	884	73.0	194	130.5	803	71.3
そらまめ	21	43.7	868	182.1	15	44.4	854	158.7	43	62.8	713	141.9	79	52.5	781	155.6
やまといも	54	76.7	582	104.0	17	74.3	577	99.3	37	110.2	555	99.3	108	85.2	572	101.6
根しょうが	68	76.3	584	98.6	31	68.4	622	101.3	56	70.8	615	98.9	155	72.6	603	99.2
マッシュルーム	37	98.6	1,307	104.9	23	82.4	1,005	91.9	46	131.2	931	88.8	106	105.5	1,077	95.0

品目 (果実)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	12,630	89.7	294	105.0	2,778	78.3	276	111.5	5,544	108.1	276	111.0	20,952	92.1	287	107.1
(早生みかん)	1,334	68.9	274	100.0	219	56.2	328	113.3	350	72.6	345	107.0	1,903	67.8	293	103.1
(普通みかん)	11,296	93.0	296	105.5	2,557	81.0	272	112.1	5,193	111.8	271	112.6	19,046	95.5	286	107.8
かんきつ類	1,036	93.4	453	108.3	819	90.6	339	102.3	2,819	128.5	362	106.0	4,673	111.1	378	105.2
りんご類	1,679	78.9	440	127.1	793	66.6	402	134.6	2,017	94.7	376	122.2	4,489	82.4	405	126.1
(ふじ)	1,266	74.4	422	130.5	587	60.3	401	136.0	1,615	93.5	376	125.4	3,468	78.8	397	129.0
いちご類	879	71.6	2,661	123.0	966	67.9	2,033	132.8	1,254	96.7	1,791	125.1	3,099	78.5	2,113	124.7
(とちおとめ)	410	66.7	2,560	118.7	417	55.2	1,754	132.4	536	75.1	1,632	126.6	1,364	65.4	1,948	125.0
(あまおう)	128	64.0	2,910	121.4	191	93.1	2,547	115.6	217	150.7	2,145	109.5	535	97.7	2,470	111.8
メロン類	166	72.9	1,422	151.7	62	99.6	1,333	132.7	121	92.9	1,225	166.2	349	83.1	1,338	151.1
(アールスメロン)	129	77.3	1,616	155.4	48	112.3	1,523	130.4	78	105.3	1,508	174.3	256	89.9	1,565	154.4
すいか類	25	58.9	284	103.5	1	11.5	647	226.8	8	33.9	443	141.4	34	44.3	335	116.2
(すいか大王)	24	60.9	282	107.5	1	9.2	729	267.1	8	34.4	443	142.3	33	45.2	333	119.4
ぶどう類	103	78.2	2,208	118.4	18	45.1	1,932	129.9	48	85.2	1,805	122.3	169	74.2	2,065	121.2
(シャインマスカット)	74	95.3	2,705	99.2	7	50.3	2,878	105.2	22	97.1	3,125	109.2	104	89.9	2,806	101.9
日本なし類	16	208.1	491	102.3	0	200.0	587	108.4	0	50.0	915	88.6	16	207.0	493	101.8
かき類	341	90.2	483	111.1	47	79.4	485	105.5	142	106.9	487	109.0	530	93.0	484	110.0

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,029	112.8	74	89.2	1,365	85.4	89	88.2	1,804	112.6	65	82.0	5,199	104.0	75	85.5
にんじん	2,455	92.7	118	91.5	929	70.2	116	81.4	2,159	99.8	107	73.3	5,543	90.3	113	82.2
キャベツ類	951	90.3	66	83.6	693	85.8	77	74.1	1,188	179.8	79	75.5	2,832	112.3	74	79.1
ほうれんそう	38	77.3	417	79.6	17	42.4	489	103.0	38	88.3	514	109.3	93	70.3	469	95.5
ねぎ	536	102.3	324	79.7	331	96.5	359	72.2	599	131.0	257	60.5	1,466	110.7	304	69.8
レタス類	145	118.9	253	131.0	94	90.0	302	129.9	131	108.6	305	150.2	370	106.6	284	136.2
きゅうり	264	94.9	397	100.7	264	111.5	316	91.8	251	109.2	342	86.8	778	104.6	352	93.0
トマト	76	124.3	397	122.4	65	87.7	334	114.0	63	137.3	317	101.7	204	112.6	352	114.2
さといも	64	97.7	353	85.3	7	40.8	292	87.5	16	91.8	228	65.7	86	87.1	325	83.7
かんしょ	547	119.5	273	104.0	201	91.3	291	102.3	647	110.5	279	101.6	1,394	110.4	278	102.4
かぶ	371	98.6	121	105.3	208	81.3	166	96.6	366	109.6	134	91.9	946	97.8	136	96.6
こまつ菜	22	89.7	338	103.5	13	68.0	391	95.8	20	108.7	375	99.7	54	88.5	364	99.3
しゅんぎく	41	120.1	1,469	115.9	28	78.2	1,209	99.4	38	123.0	726	96.0	106	106.1	1,139	104.1
サラダナ	11	125.3	696	150.6	6	91.3	497	133.0	10	127.9	387	116.8	28	116.3	538	136.9
パセリ	16	88.7	2,113	203.9	6	98.4	1,828	168.5	6	94.7	1,290	165.7	28	92.1	1,865	188.3
ミニトマト	66	87.3	633	138.9	68	89.1	456	117.7	111	150.4	353	79.3	245	108.5	457	106.5
やまといも	31	74.0	579	107.7	9	73.3	559	98.2	24	117.3	548	98.4	64	85.5	565	103.1

品目 (果実)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	4	136.1	1,374	194.0	2	60.0	1,244	277.1	2	138.0	916	209.8	7	103.1	1,231	225.5
(アールスメロン)	3	128.7	1,420	200.4	2	59.0	1,250	278.3	2	122.3	953	218.2	7	97.0	1,269	232.4

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。ーは数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 2月の見通し

野菜

引き続き、関東や東海地方、西南暖地からの入荷が主要となる。

「だいこん」「キャベツ類」など、関東産地では低温や乾燥の影響が見られているが、出荷量が大きく減りこむことはないと見込まれる。「ばれいしょ類」は鹿児島県などからの入荷が増えるが、道産の貯蔵量は少なめで、引き続き平年を下回る入荷が続く見通しである。

野菜全体では、入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。

果実

「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」の出回りが中心となる。

入荷量は、「みかん類」は、生育順調で品質も良いが、裏年のため少ない。「りんご類」は、凍霜害が全国的にあったため、平年より少ない。「いちご類」は年内の気象により作柄がバラついているが、前年並。

価格は、入荷量の少ない「みかん類」「りんご類」は、前年を上回る見込み。コロナ禍で業務需要が落ちている「アールスメロン」では、作付面積を減らしてもいるが、前年並か下回る見込み。

果実全体では、入荷量は前年を下回り、価格は前年並の見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	⇒	⇒	↓↓↓	主産地は神奈川、千葉県。露地作では低温により葉傷み等が見られるが、全体の出荷量に大きな影響はなく、トンネル作は生育順調である。
にんじん	↗	⇒	↓↓↓	↘↘	主産地は千葉、埼玉県。地上部の枯れ上がりにより出荷ペースは落ちてくるものの、根部の肥大は順調で太物の発生も少なくないと見込まれる。
キャベツ類	↘	↗	↑↑	↓↓↓	主産地は愛知、千葉県。千葉、神奈川県では低温や乾燥で葉傷みや生育停滞が見られ始めている。愛知県から安定した出荷が見込まれている。
ねぎ	↗↗	⇒	↓↓↓	↓↓↓	主産地は千葉、埼玉県。低温や降雪の影響で葉枯れや葉折れ等が一部見られるが、各産地で肥大は良く太物傾向が続くと見込まれる。
レタス類	↘	↘	↗	↓↓↓	主産地は静岡、茨城県。静岡、香川県等では寒波の影響で生育や玉肥大が鈍ってきている。後続の茨城産も増え、下旬には数量が回復する見込み。
きゅうり	⇒	⇒	⇒	↗	主産地は宮崎、千葉県。宮崎県は植え替え等でペースが落ちてくるが、千葉、高知県などは着果など特に問題なく、前年並の入荷が見込まれる。
トマト	↘↘	⇒	↗↗	↘↘	主産地は熊本、栃木県。熊本県は障害果は減ったが小玉傾向で、栃木県は各作型で生育概ね順調、一部で病害や加温控えの影響が懸念される。
なばな	↗	↘	⇒	↘↘	主産地は千葉、香川県。千葉県では晩生品種で寒さによる生育遅れが見られるため、出荷ピークが遅れることが予想される。

増加 減少

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗, ↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

いちご類

主要産地のいちご類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2021年2月入荷量	2021年2月シェア率
千葉	68 t	1.5 %
栃木	2,134 t	46.1 %
福岡	762 t	16.5 %
茨城	531 t	11.5 %

2月入荷予測	4,400t(前年比95.0%、平年比96.2%)		
2月価格予測	1,400円(前年比99.2%、平年比101.0%)		
2月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 弱保合 ↘

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場におけるいちご類の中心産地は栃木県です。次いで、福岡県、茨城県、静岡県と続きます。栃木県からの入荷量が総入荷量の半分近くを占め、上記4産地で約80%の入荷量シェアとなります。

どの産地も暖冬の影響で生育が前倒しとなっていました。12月からの低温により生育がばらついていますが、生育前倒しの影響で1月上旬は端境期となり、入荷量は少なくなりました。

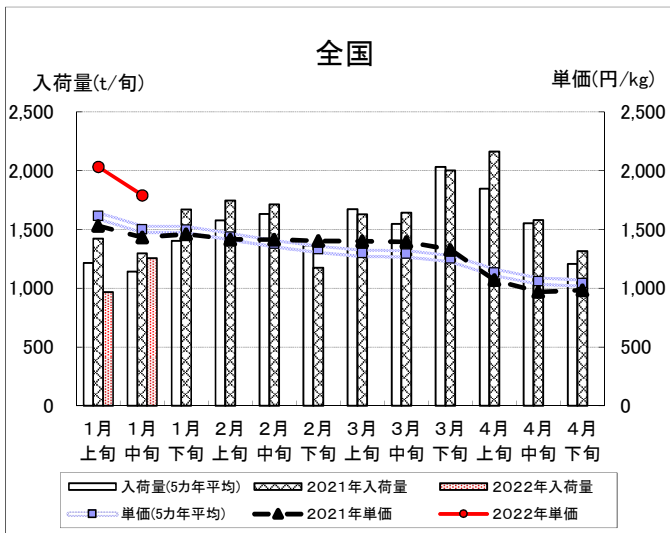
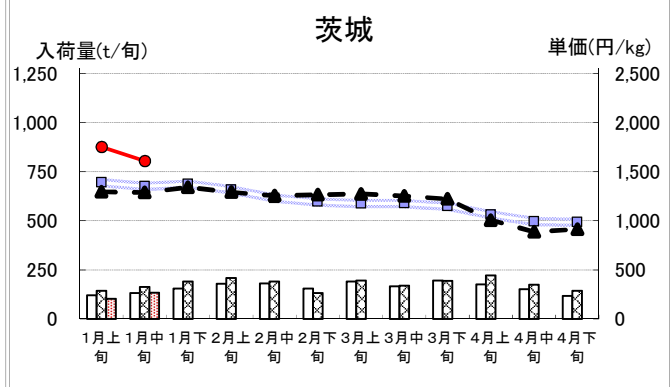
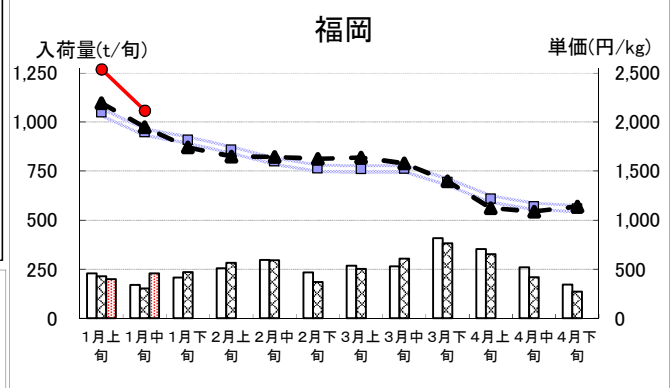
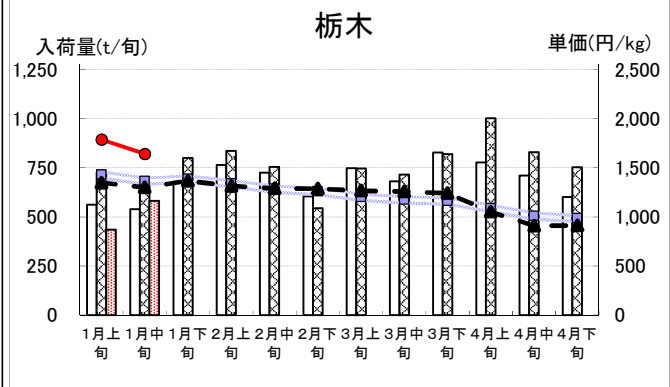
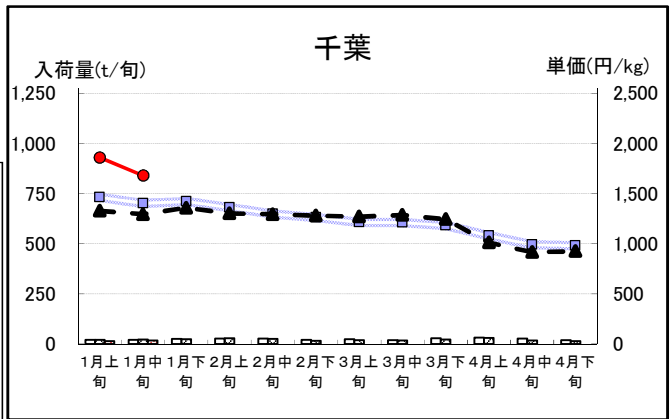
栃木県は、年末年始が端境期となり、2番果は2月上旬にピークとなりますが、目立ったピークもなく、2月中旬から3番果の収穫が始まる見込み。

福岡県は2番果が出揃うのは2月中旬の予定で、以降は順調な出荷見込み。

茨城県は2月上旬にピークを迎え、出荷量は前年、平年並の見込み。

2月は各産地、年内の暖冬と12月からの低温により生育がばらついていて、極端な入荷になることはないと思われ。3月には全国的に順調な出荷となり、数量が多くなりそうです。

2月の入荷量は前年、平年並、価格も前年、平年並の見込みです。



II 花き(切花)情報

1月(中旬)までの経過

年末需要に向けて入荷量が増加した。年明け後は大きな需要のない時期であるが、寒さの影響で品薄となった品目が多く、相場は高めに推移した。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	12月下旬から1月上旬は平年並であった。1月中旬は平年をかなり下回った。1か月の合計では平年をやや下回った。
相場	12月下旬は平年をやや上回った。年明け後の1月上旬は平年をかなり上回り、1月中旬は平年を大幅に上回った。
動向	年末は、品目により不足感がある取引で引き合いが強い販売となった。1月は大きな需要はないが、寒さの影響で品薄の品目が多く相場は高めに推移した。

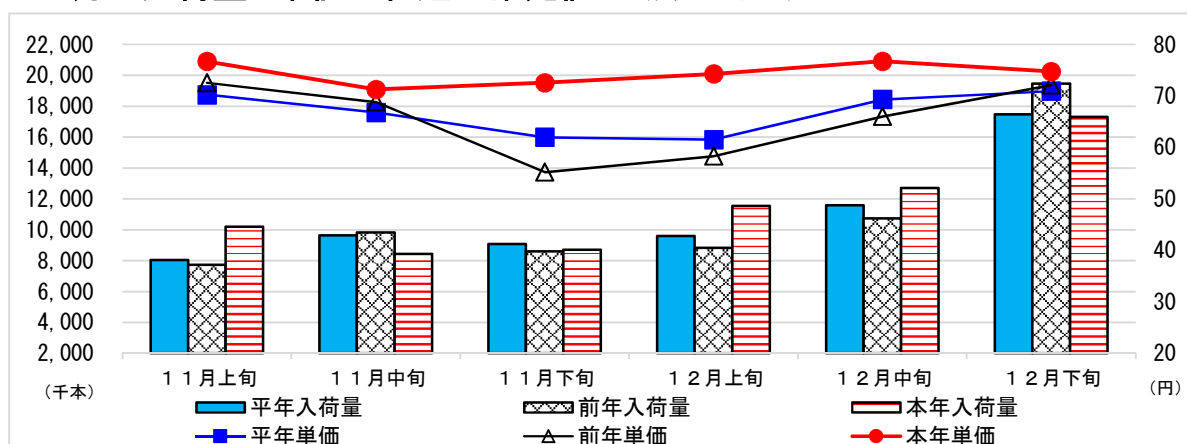
品目別経過

品目	経過	
ストック	株大田花き	寒さの影響で出回り数量は少なく、品薄感が出ている状況。SP系、ST系ともに需要が大きく、供給量が足りていない状況。
カーネーション	株第一花き	中旬くらいまで国産、輸入ともに多くなく、安定した販売。特に白STは高値で推移。
カラー	株大田花き	千葉中心に寒さの影響から生育鈍く、数量少ない状況。出回りが少ないこともあり、安定した販売となった。

2月の見通し

品目	見通し	
ストック	株世田谷花き	天候次第ではあるが、中旬以降に各色増えそう。
カーネーション	株大田花き	国産の品質が一番いい時期となる。バレンタイン用で一部品種引き合いあり。輸入品は引き続き多くはない状況が続く。

12月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	R3.12月				累計 (R3.1~R3.12月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	18,156	0.84	187	1.18	222,824	0.94	188	1.00
だいこん	2,100	0.79	57	1.03	26,577	0.88	73	0.89
にんじん	1,329	0.90	87	0.89	12,552	1.02	120	0.85
はくさい	1,859	0.75	37	1.02	15,427	0.91	58	0.79
キャベツ	2,451	0.91	53	0.88	37,917	0.95	70	0.78
ねぎ	1,140	1.24	227	0.79	8,899	1.01	316	1.06
トマト	482	0.84	432	1.38	9,363	0.98	342	0.97
きゅうり	478	0.99	324	0.95	9,386	1.05	285	0.84
ばれいしょ	949	0.79	220	1.56	11,336	0.89	216	1.40
たまねぎ	1,635	0.67	181	2.66	22,729	0.85	105	1.43
レタス	709	0.83	183	1.39	10,737	0.92	159	0.99
果実	5,304	0.88	407	1.20	54,669	1.01	390	1.00
みかん	2,846	0.85	244	1.11	10,378	1.03	242	1.00
かき類	227	0.83	374	1.11	2,364	0.94	331	1.08
グレープフルーツ	57	1.15	204	0.84	818	0.60	201	1.05
なし類	12	0.23	544	1.43	3,150	1.14	442	0.92
ぶどう類	62	0.94	1,591	1.18	1,526	0.89	1,240	1.10
いちご類	301	1.14	2,137	1.09	3,197	1.11	1,268	0.99
すいか類	3	1.48	355	1.12	4,676	1.03	244	1.01
メロン類	37	0.90	677	1.02	2,678	0.99	475	1.07
バナナ	475	0.94	133	1.12	5,799	1.16	145	0.93
りんご	609	0.81	374	1.44	6,470	1.03	307	0.90
その他	255	0.96	490	0.98	2,362	0.98	255	1.10
青果物合計	23,715	0.85	240	1.20	279,855	0.95	228	1.01

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R3.12月				累計 (R3.1~R3.12月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,354	0.96	68	1.06	13,338	0.92	63	1.04
きく	562	1.42	55	0.79	4,083	1.00	59	0.88
バラ	33	1.25	142	1.11	413	0.98	95	1.09
カーネーション	271	1.03	48	1.11	2,587	0.99	48	1.06
枝物	233	0.90	110	1.07	508	0.96	103	1.06
鉢物	83	1.12	229	0.83	1,095	1.00	152	1.06
その他	1	1.00	2,704	0.28	15	1.07	256	0.34
花き合計	1,671	0.96	84	1.00	14,956	0.92	71	1.05

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ら ゃ ば 閑 話

「恵方に向かって」

もうすぐ「立春」です。春とは名ばかりと思えるくらい、まだまだ寒い日が続いています。二十四季節では「冬至」と「春分」の中間にあたる日であり、朝方勤務をしていると陽が長くなってきていることを実感します。「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日にあたるのが「節分」で、春の節分は旧暦の大晦日にあたり、邪気を払い新年を迎える日でもあります。

さて、春の節分といえば、豆まきと恵方巻きを思い浮かべますが、私が「恵方巻き需要」なるものを知ったのは大田市場に来てからです。青果市場には飾りに使う柗の入荷もありますが、恵方巻きの定番食材であるキュウリも、節分前には引き合いが強まり相場形成に影響します。青果で「恵方巻き需要」というと、おおよそキュウリの話になります。一昨年は、日照不足などにより西南暖地と関東の主産地からの入荷が少ない状況が続く中でこの需要期を迎え、東京都中央卸売市場の1月下旬の平均単価は674円/kgと、前旬や平年と比べてもかなり高騰しました。恵方巻きの起源についてネットで調べてみると、諸説ありますが大阪発祥だそうで、某コンビニエンスストアによって全国的にこの食文化が広まったようです。思いの外歴史は浅いものの、ニュースでフードロスが取りざたされたことで、対策として予約販売が年々強化されたり、生産販売計画の見直しが図られているようです。また、恵方巻きスイーツが現れるなど形態や食材も多様化し、需要の縮小や分散が心配されるようです。

農畜産業振興機構の調べによると、惣菜で使用されるキュウリはほぼ生鮮野菜、国産割合は100%に近いです。同じ果菜類で見ても、(普通)トマトは水煮や缶詰、ピーマンやナスは冷凍野菜が使用されており、国産の割合もキュウリより少なくなります。惣菜には限りませんが、高まる加工・業務用需要に国産の対応が求められる中で、安定的な国内供給のニーズが高い品目なのかもしれません。とは言え、最近の燃油価格の高騰をはじめ、生産コストの増加が農家に与える負担や経営努力が報われる販売となるといいのですが。

例年にない厳しい寒さが続いています。良い事があるよう願って恵方巻きにかぶりつきたいと思います。余談ですが、2月8日は「べにはるかの日」です。恵方巻きの次は焼き芋でもいかがでしょうか。

(50mm F1.8)

V 首都圏揭示板



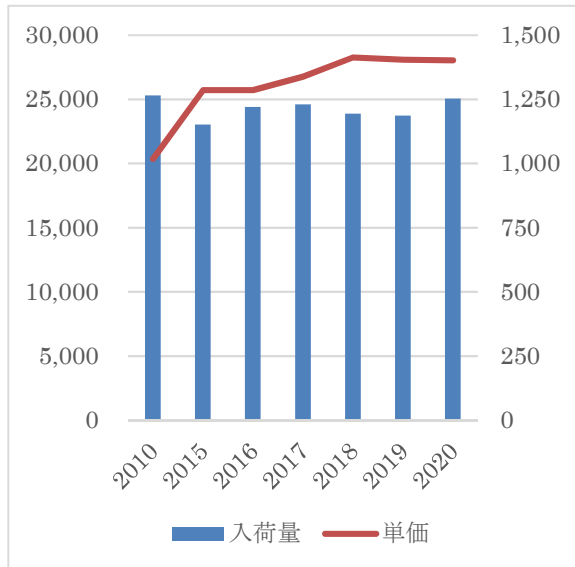
様々ないちご入荷中

現在市場には各産地から続々と2番果のいちごが入荷してきています。

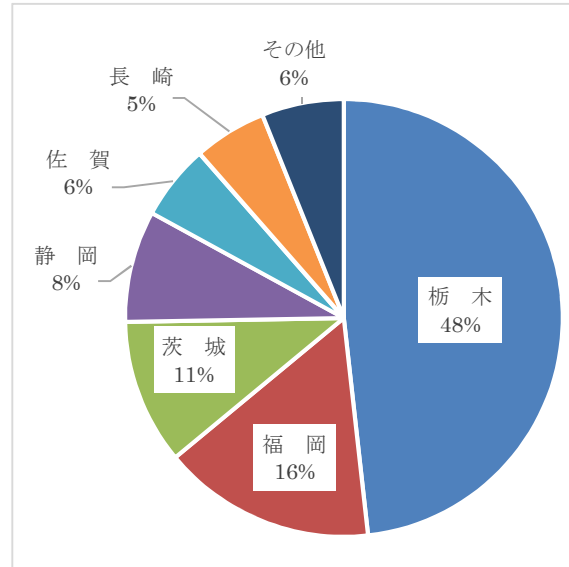
本作は秋口の好天に恵まれ、各産地生育が前進傾向でしたが、年末年始の寒波により、生育にバラツキが生じています。

近年、果物全般で農家所得の維持を図ろうと各県様々な特色ある品種の開発やブランド戦略を練っており、いちごでも続々と新品種が作られています。また、まだ物珍しさがありますが、白いちごの種類も増えてきております。

寒い冬を健康に過ごすため、いちごでビタミンCの摂取はいかがでしょうか？



都中央市場の国産いちご類入荷推移



都中央市場の国産いちご類シェア率(2020年度産)



栃木県「とちあいか」



静岡県「きらび香」



佐賀県「いちごさん」



熊本県「ゆうべに」



最近種類が増加中白いちご 左から 淡雪、パールホワイト、天使のいちご、奈良3種セット

2月14日はフラワーバレンタインです

年末需要が終わり、卒業・送別会シーズンまでの間、花は大きな需要がない時期となります。大田市場花き棟の中央通路では、1月31日の「愛妻の日」や2月14日の「フラワーバレンタイン」など、新たな花贈りの提案にからめた展示が行われていました。

「フラワーバレンタイン」は、バレンタインに男性から女性へ花を贈る日として花業界が推進し、昨年10周年を迎えました。近年は、「恋人、友達、家族、誰から誰に贈ってもいい、もっと自由に花を贈ろう」をコンセプトに展開しています。

この時期、皆さんも、身近な大切な人に、花を贈ってみませんか。



1/31 愛妻の日
チューリップフェア
(新潟県、富山県、埼玉県の合同展示)



2/14 フラワーバレンタイン
(一社) 花の国日本協議会



スプレーマムを使用したバレンタインブーケの提案
(JA 愛知みなみ・種苗会社の合同展示)